

2006年1月16日

日立化成工業(東莞)が感光性フィルムの生産能力を倍増、生産開始

日立化成工業株式会社(本社：東京、執行役社長：長瀬 寧次、資本金：153億円)の子会社である日立化成工業(東莞)有限公司(本社：広東省東莞市、董事長：兼子 章、資本金：2,390万 US\$)は、中国におけるプリント配線板回路形成用感光性ドライフィルム(以下、感光性フィルム)のさらなる事業拡大を図るため、約16億円を投じて同社内に生産能力5,000万 m^2 (年ベース)の新工場を竣工し、このたび生産を開始しました。

現在中国は、感光性フィルムの主要顧客であるプリント配線板メーカーが中国への生産シフトを加速させるとともに、中国現地のプリント配線板メーカーも電子機器の旺盛な需要に対応し生産を拡大していることから、感光性フィルムの世界最大の市場となりました。今後もさらなる市場拡大が見込まれることから、こうした需要増に対応し、売上を拡大するため、今般生産能力を2倍の1億 m^2 (年ベース)に引き上げたものです。

日立化成グループは、中国、マレーシア、日本に感光性フィルムの生産拠点を、中国(上海、東莞)、香港、台湾地域、韓国、マレーシア、オランダにスリット拠点をもち、感光性フィルム事業において世界トップシェアを有しています。今回の東莞での生産能力増強により、中国国内での売上を拡大し、2006年度には中国においてトップシェアを獲得する計画です。

< 日立化成工業(東莞)有限公司の概要 > (2005年12月末現在)

社 名：日立化成工業(東莞)有限公司
所 在 地：広東省東莞市茶山鎮石大路 茶山工業園
資 本 金：2,390万 US\$
設 立：2002年7月30日
株 主：日立化成工業株式会社 93%
Hitachi Chemical Co. (Hong Kong) Ltd. 7%
代 表 者：董事長 兼子 章
従 業 員：190名
事 業 内 容：感光性フィルム、電気絶縁ワニスの製造及び販売
今 回 投 資 額：約16億円
生 産 能 力：感光性フィルム 1億 m^2 (年ベース)、電気絶縁ワニス 8,000t(年ベース)
新工場本格稼働：2006年1月より

以上

(報道関係お問い合わせ)

日立化成工業株式会社 コーポレート戦略室 広報担当 野口 TEL 03-5381-2377